

ひこうせん

第27号

2023.2.10

講演会のお知らせ

自分らしく生きる 今から未来を明るく暮らすために大切なこと PRESENT of Life

日時：令和5年3月9日(木)

14時～15時30分(開場13時30分)

会場：狭山市市民交流センター1階 コミュニティホール

定員：100名(入場無料)

講師：武蔵野学院大学国際コミュニケーション学部客員教授
EdTech(教育工学)研究所特任研究員

稲葉 真二氏



講師プロフィール

武蔵野学院大学にて客員教授を務めるほか、複数の大学においてキャリアデザイン、ビジネスコミュニケーション等の非常勤講師も務める。

大手包装資材メーカー、食品メーカー、通信部材メーカー等の顧問としてコンサルタント業務にも従事し、企業の人材育成や事業成長のヒントとなるセミナーや研修においても多数の実績を持つ。

申込み：受付中 狭山市男女共同参画センターへ (電話・FAX可、先着順)

電話 04-2937-3617 (土曜、日曜、祝日を除く8時30分～17時15分)

FAX 04-2937-3616 (住所、氏名、FAX番号を記入)

保育：先着6名 2歳～就学前のお子さんをお預かりします。

※申込み時に受付 2月20日(月)まで

手話通訳・要約筆記が必要な方は、申込み時に受け付けますので、お申し出ください。

主催 狭山市(男女共同参画センター)・狭山市教育委員会(富士見集会所)

知っていますか？ アンコンシャス・バイアス

アンコンシャス・バイアスは「無意識の思い込み」などと訳されます。私たちの脳は、これまでに経験したことや見聞きしたことに照らし合わせて、「自分なりに解釈する」機能があります。



こんなこと、ありませんか？

- ・来客受付やお茶出しを男性がするのに違和感がある
- ・「男(女)のくせに」などと思ってしまうことがある
- ・育児休業を長期間取得する男性社員は、昇進欲が低いと思ってしまう
- ・DVと聞くと被害者は女性だと思う
- ・「普通は〇〇だ」「それ、常識だよ」という言葉を使うことがある
- ・何をしても相手との「上下関係」を意識してしまう
- ・つい、「これまでのやり方」や「前例」にとらわれてしまう



このように、アンコンシャス・バイアスは日常にあふれていて、誰にでもあるものです。問題になるのは、それに気づかず「思い込み」「きめつけ」「押しつけ」により固定的な性別役割分担意識や性差に関する偏見につながる場合があることです。

自分が思い込みを持っていることを認め、正しい知識を身につけ、より多くの視点、幅広い視野を持つことができるようになると、より客観的で公平な判断ができるようになります。

あなたも少し意識してみませんか。

特集 第5次狭山市男女共同参画プラン ～人権が尊重され 女と男が輝けるまち さやま～

狭山市では、令和4年3月に「第5次狭山市男女共同参画プラン」を策定しました。

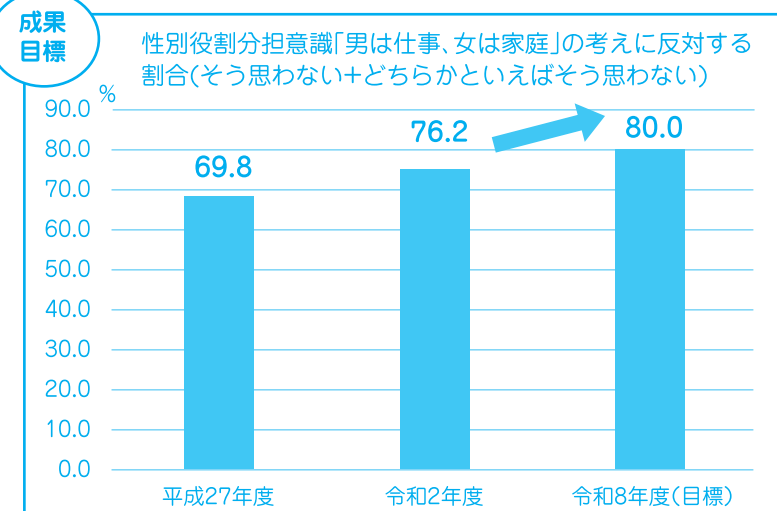
第5次プランには、これまで実施してきた第4次プランの達成状況や、市民等の意識・実態・ニーズと社会情勢の変化を反映するほか、新型コロナウイルス感染症による生活様式や就労環境の変化から配偶者やパートナーからの暴力が増加傾向にあることを踏まえ、「男女間のあらゆる暴力の根絶」を基本方針Ⅳに新たに加えました。

各基本方針の要点及び、意識調査の数値などを紹介します。

基本方針Ⅰ 互いの人権を尊重し認め合える意識の醸成

男女共同参画社会を実現するため、家庭・学校・地域・職場を通して、人権教育や男女の相互理解について学び、男女共同参画の意識と理解がより深まるよう取り組んでいきます。

また、性の多様性への理解や、メディアにおける性別に基づく固定観念にとらわれた表現、女性の性的な側面のみを強調したものなど、女性の人権に対する配慮を欠いた表現や扱いを防ぐ環境づくりを推進します。

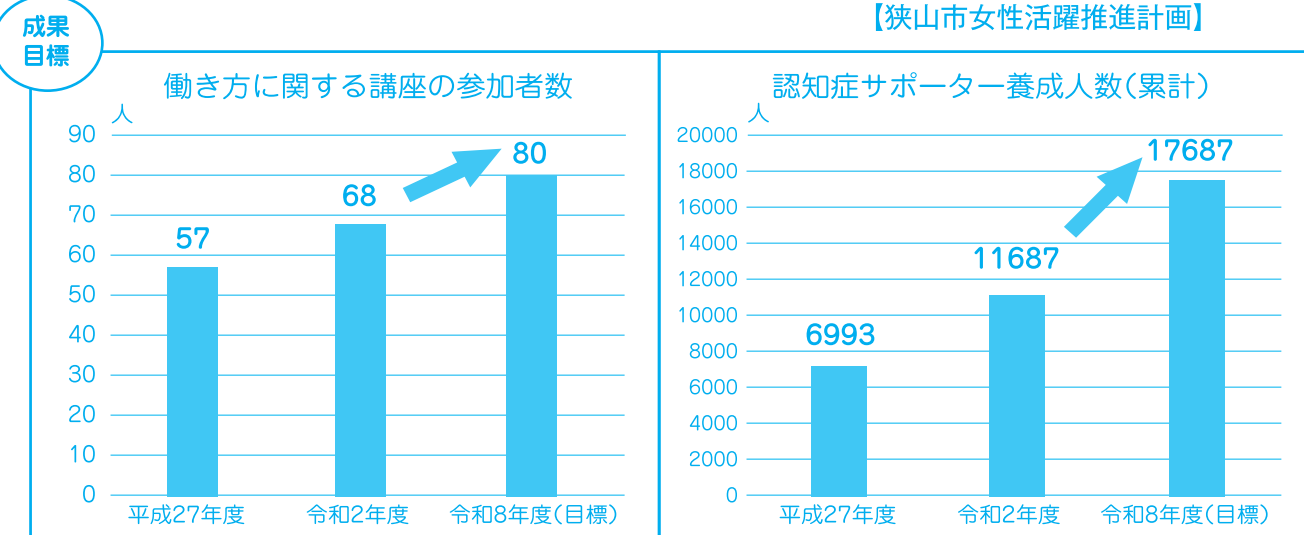


◎性的指向・性自認に関する悩みについて、専門相談窓口があります

にじいろ県民相談(埼玉県LGBTQ県民相談) 相談日時:毎週土曜日 18時～22時
0570-022-282(ナビダイヤル)または、LINEで [にじいろ県民相談](#) と検索

基本方針Ⅱ あらゆる分野でいきいきと輝ける環境の整備

【狭山市女性活躍推進計画】

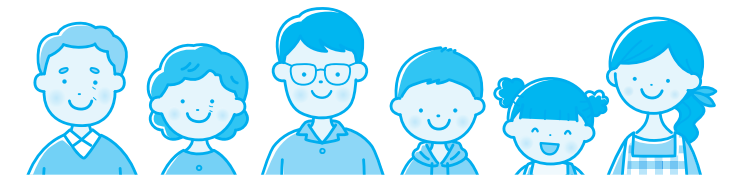
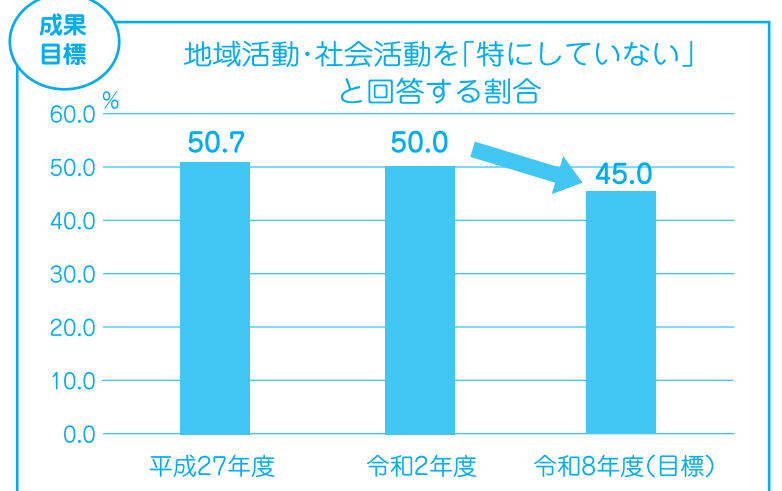


育児や介護により、働きたいにもかかわらず離職する女性が少なくありません。個人の生き方に合わせ、多様なニーズに対応し、働き方を選べるワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組みを進めます。また、様々な理由で一旦就業を中断した女性が、再び職場で活躍できるための支援を推進します。

基本方針Ⅲ 安全・安心に暮らせる生活環境の構築

あらゆる人が個性と能力を発揮して活躍し、活力ある豊かなまちを実現していくためには、男女が共に仕事と家庭・地域における活動などをバランスよく担うことが必要です。特に、男性が中心となりがちな防災・復興の分野では、女性の参画を推進するとともに、性差に配慮した防災体制づくりを推進します。

また、性や生命の大切さを啓発し、男女が互いの身体的な特徴を理解し尊重すること、生涯にわたり心身ともに健康な生活を送るための意識の醸成、健康づくりの推進、生活に困窮する方や様々な困難を抱えている人に寄り添った自立支援・経済的支援を行います。

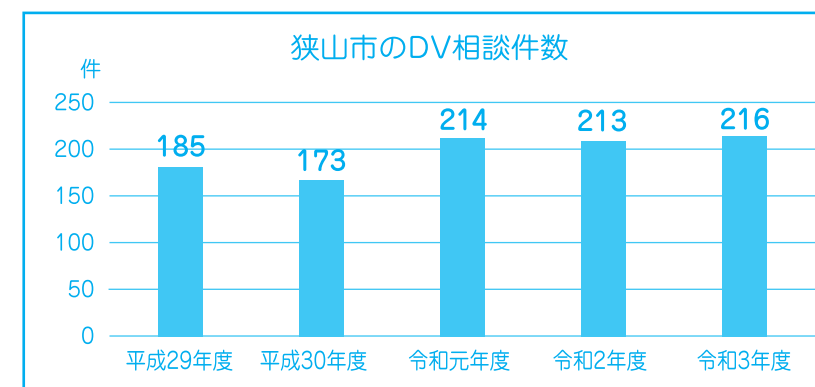


新設

基本方針Ⅳ 男女間のあらゆる暴力の根絶【狭山市DV防止基本計画】

DVやセクハラ(セクシュアル・ハラスメント)などは重大な人権侵害であり、どんな場合であっても、男女を問わず決して許されるものではありません。

近年、SNSなどインターネット上のコミュニケーションツールの広がりに伴い、若年層への被害拡大も見られます。これら、被害の相談の中には相談者本人が生命の危険にさらされていたり、子どもへの虐待を伴っている場合など、複合的な問題を含むことも多いことから、関係機関・市役所内関係課との連携を強化し、被害者の安全確保、自立への支援体制の充実を図ります。



◎配偶者・パートナーなどから暴力の被害を受けたら、ひとりで悩まず相談してください。
※相談先は4頁をご覧ください。

DVお悩みチャット@埼玉
受付:日曜・水曜・金曜
15時～20時30分



コロナ禍に入った令和元年度に増加し、200件を超える高い件数となっています

男女共同参画社会の形成を図るためには、市民一人一人の意識によるところも大きいことから、社会のあらゆる分野・場面での自主的な取り組みが促進されるよう環境を整備するとともに、市民や団体、事業者などと協働して、「人権が尊重され 女と男が輝けるまち さやま」の実現を目指していきます。

男女共同参画センターをご利用ください

狭山市駅西口にある狭山市市民交流センター2階に「男女共同参画センター」があります。講座の募集や実施した事業の報告は、狭山市ホームページに掲載しています。



令和4年度はこんな事業をしています

- 6月 男女共同参画映画会、男女共同参画パネル展
- 8月 男女共同参画出前講座(市内中学校)
- 11月 女性に対する暴力をなくす運動(パープルリボンキャンペーン)
- 1月 女性向け講座(ステップ・アップ・セミナー)デートDV防止出前講座(市内中学校)
- 3月 男女共同参画講演会※1頁を参照ください
男性向け講座(普通救命講習会)

図書・DVDの貸出、行政資料の閲覧ができます！

センター内情報コーナーは、男女共同参画に関する図書、絵本やDVDの貸出、内閣府や埼玉県、県内の男女共同参画関連の行政資料の閲覧ができます。(令和3年度貸出利用者113名、貸出資料累計220点)

【利用方法】

- ・情報コーナー専用の利用券をお作りします
- ・図書・DVD等の貸出は、1回につき組み合わせ自由で3点以内、貸出期間は15日以内です
- ・利用時間 8時30分～22時まで(年末年始を除く)

※土曜日・日曜日・祝日と平日の17時15分～22時は、市民交流センター2階総合案内で貸出及び返却ができます。

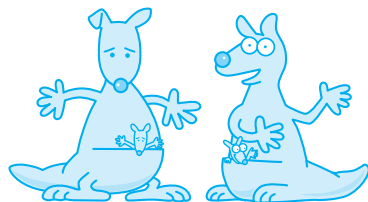
相 談 窓 口

一 般 相 談	狭山市役所市民相談室 04-2937-5843 (直通)	月～金曜 9:00～16:00 (年末年始・土曜・日曜・祝日を除く)
女性生活相談(要予約)		第1金曜・第3火曜・第4火曜 10:00～15:00
生き方・家族・夫婦・DV 人間関係などの相談	埼玉県配偶者暴力相談支援センター 埼玉県男女共同参画推進センター With You さいたま 048-600-3800 (相談専用)	月～土曜 10:00～20:30 (年末年始・日曜・祝日・第3木曜日を除く)
男性のための電話相談	埼玉県配偶者暴力相談支援センター 埼玉県男女共同参画推進センター With You さいたま 048-601-2175 (相談専用)	第1・第3日曜 11:00～15:00
ドメスティック・バイオレンス (DV)に関する電話相談	埼玉県配偶者暴力相談支援センター 埼玉県婦人相談センター 048-863-6060 (相談専用)	月～土曜 9:30～20:30 日・祝日 9:30～17:00 (年末年始を除く)
生活困窮者自立支援相談	くらし・しごと支援センターさやま 04-2956-7669	月～金曜 8:30～17:00 (年末年始・土曜・日曜・祝日を除く)

デートDVを知っていますか？

配偶者やパートナーなど親密な間柄で行われる暴力行為を「ドメスティック・バイオレンス＝DV」といいます。DVは、大人だけでなく、大学生や高校生など交際する者同士の間でも起きています。

この交際相手からの暴力を「デートDV」といい、男性も女性も被害者になる可能性があります。



交際相手との間にこんなことはありませんか？

- ☐ LINEなどの返事をすぐに返さないで怒る
- ☐ 他の人と仲良くしていると責める
- ☐ 用事があっても一緒に帰らないで怒る
- ☐ 常に行動をチェックする
- ☐ 大声でどなる、無視する、バカにする
- ☐ いつもおごらせる、高額なプレゼントを要求する

思い当たることがあれば、デートDVかもしれません。一人で悩まず、まずはご相談ください



編 集 後 記

- 日本のGGI、教育1位、健康63位。政治、経済低位のまま。(木下)
- アンコンシャス・バイアス、あることを意識して！(金野)
- 自分の中にある「思い込み」を見つけて反省！(中村)
- コロナ後にDV相談件数が高まっているのが気になります。(西宮)
- 文化の異なる世代の意見を聞いて理解が深まりました。(藤村)
- 一人ひとりが自分らしく輝ける狭山に。(事務局)

市民編集委員 木下修/金野久江/中村真理子/
西宮努/藤村彩花

発行 狭山市市民部市民相談課男女共同参画センター
〒350-1305 狭山市入間川1-3-1
TEL04-2937-3617
FAX04-2937-3616(代表)
E-mail: danjo@city.sayama.saitama.jp